

【ガソリン】日本においてもガソリン代は、日々私達のお財布を苦しめる要因の一つ。突然の高騰などにも頭を悩ませられますよね。日本における近年のレギュラーガソリンの平均価格は1リットルあたり約137円。日本人の平均年収が420万円と言われていますが、そんな私達日本人にとっても決して安い金額とは言えませんよね。さて、マラウイではどうでしょうか。近年マラウイでは車の需要が高まり、都市部では急激な車の増加が続いています。そんな中ガソリン代ですが、なんと1リットルあたり923クワチャ（=約141円）です。ちなみにマラウイ人の平均年収は約3万円と言われてますので、収入から考えてみても驚きの金額だと思いませんか？当然、ガソリン代にとって先進国・途上国といった違いはありませんので、現状として、とても厳しい状態だと言えます。ですのマラウイでは、ガス欠で車が止まる事はよくあります。タクシーもお客を乗せてから給油を行い、その時にお客からお金をもらいます。下り坂ではエンジンを切って走らせますし、給油ランプが点灯していない車は大変珍しいです。世界で必要とされ大変便利な車ですが、国によって色んな違いがあるようです。



【バオ】マラウイで大人気（生活の一部）のボードゲームです。将棋、チェス、オセロなどと同様、気軽に子供から大人までが楽しく遊べるゲームです。マラウイの道端、マーケットでは朝から晩までバオをしている人を多く見かけます。しかも男性のみ（おそらく暇な方々）。ルールは簡単なカウントゲームだそうですが、私はまだプレイした事が無くルールを知りません。窪みのある木製の盤と石（ビー玉の様な）を使用します。ただの石を使用している人もおり、手作りで作られている物が主です。ゲーム中は石と木がコツコツとぶつかる事でリズムカルな音を奏で、まるで楽器を演奏しているようにも聞こえます。

【5Sリーダーとモデル病棟】コンペティション終了後しばらくが経過しましたが、明らかな変化が見られました。まずひとつ目が、5Sリーダーの誕生です。コンペティション期間を通して熱くなった数名のスタッフが5S活動の指揮をとり、優勝を目指し周囲のスタッフを巻き込んで行動したのですが、予想以上にコンペティション終了後も指揮・興味を保っています。私は当初、どうせコンペティション期間中しかスタッフは真剣に取り込まないだろうと高を括っていたのですが、嬉しい誤算です。人間、人を動かすにはまず自分から。周囲を動かす為に自主的に行動したスタッフは、大会が終了したからといって5Sをストップさせる訳には行かず（本当の必要性に気付く）習慣化するまでに至ったのです。この5Sリーダーの存在は、画期的な仕組みや金銭的な見返り（アローワンス）よりも有効な役割を果たすと期待をしています。また次なるステップとして、その5Sリーダーを中心としてモデル病棟を立ち上げようとチャレンジしています。このモデル病棟を設立させる事で、5Sがなかなか進まない部署にとってのお手本となり、明確にするべき事を示すことが出来ます。よって、病院全体のレベルアップにつながるでしょう。また、モデル部署になった病棟においてもモチベーションが向上し、更なる成長も期待できます。最低2つのモデル部署立ち上げを目指し、残りの期間頑張りたいと思っています。



【後記】先日マラウイに住む同期の隊員の家を訪ねてきました。彼の家は同期隊員の中で最も田舎に住んでおり、住居には水道もなくトイレは穴トイレ、お風呂は雨水を外で浴びるといった様な生活レベルです。ずっとどんな所なんだろうと思っていたのですが、とても素敵な場所でした。それは人々です。とてつもない田舎なのですが一人一人がとても温かく、挨拶をする度に幸せな気分させてくれます。子供達も本当にかわいくて、一瞬で懐いてきて握った手を放そうともしません。マラウイの田舎、癖になりそうです。